学びだったのではないかと考えました。授業、ありがとうございました。

進藤：司会という立場ですが、私からも一言お願いします。本当にお忙しい中、授業お疲れ様でした。今回は答えがない問いによる授業ということで、挑戦的な授業だったかと思います。授業者もおっしゃっていましたが、授業の中で最も大事にしていたディスカッションに時間がとれなかった点がもったいなかったと思います。その原因として、ねらいが不明確であった点があるかと思います。前半で時間がとられた部分を短縮して、ねらいに直結する展開部の時間をつくることが重要だと思いました。授業、ありがとうございました。

進藤：残り時間もわずかになってまいりましたので、最後に小松指導主事から授業実践に関する助言をお願いします。

小松指導主事：太田先生、授業実践ありがとうございました。現在、県では組織的授業改善をテーマとしており、教科や学校全体としてこのような研修会が定期的に行われるような仕組みを構築しております。今日のような教科横断的視点を踏まえた授業実践は大変有意義なものであったと思います。今回の授業では、内容が難しいものに挑戦し、生徒へ高いハードルを与える授業でありました。やや、生徒の活動が多い点もありましたが、デカルト、カント、ベンサムの視点を用いて現代の諸課題を考える意義深い実践だったと思います。今後の改善に向けて、視点が多かったせいか生徒の活動に差があるようにみられたので、活動や視点を段階に分けて行うことができればよかったと思います。

まず、今回の実践で優れている点を挙げたいと思います。まずは、新聞発表についてです。新聞発表では、生徒が主体的に調査してきた内容についてきちんと紹介できていましたし、聞く側の生徒もきちんと耳を傾けておりました。日常的に新聞発表をしているということでしたので、日頃の指導の積み重ねの成果だと思います。次に、ペアで復習させていた場面についてです。活動主義に陥らずに、あくまでも知識に基づいた活動が重要になります。そのため、ペアワークでこれまでの知識を確認しあう手法は有意義であると思います。

次に、これから向けた授業改善についてです。授業全体の中で、生徒が次の活動にすぐ移ることができない場面がありました。そのため、どのような手順で学習していくのか。その作業手順をホワイトボードに提示できれば、時間を創出することにつながったのではないかと思いました。また、各社会問題別に議論する場面で、どのように議論していけばよいのかについて事前指導が必要であったと思います。先ほどの協議の中でも、議論の型、フレームワークを提示したり、指導しておくで、議論の内容が深いものになったかと思います。例えば、「○○である。なぜなら、○○であるからだ」といった簡単なものでいいので、日々の実践の中で定着させていくことが重要です。さらに、議論させた後に、学級全